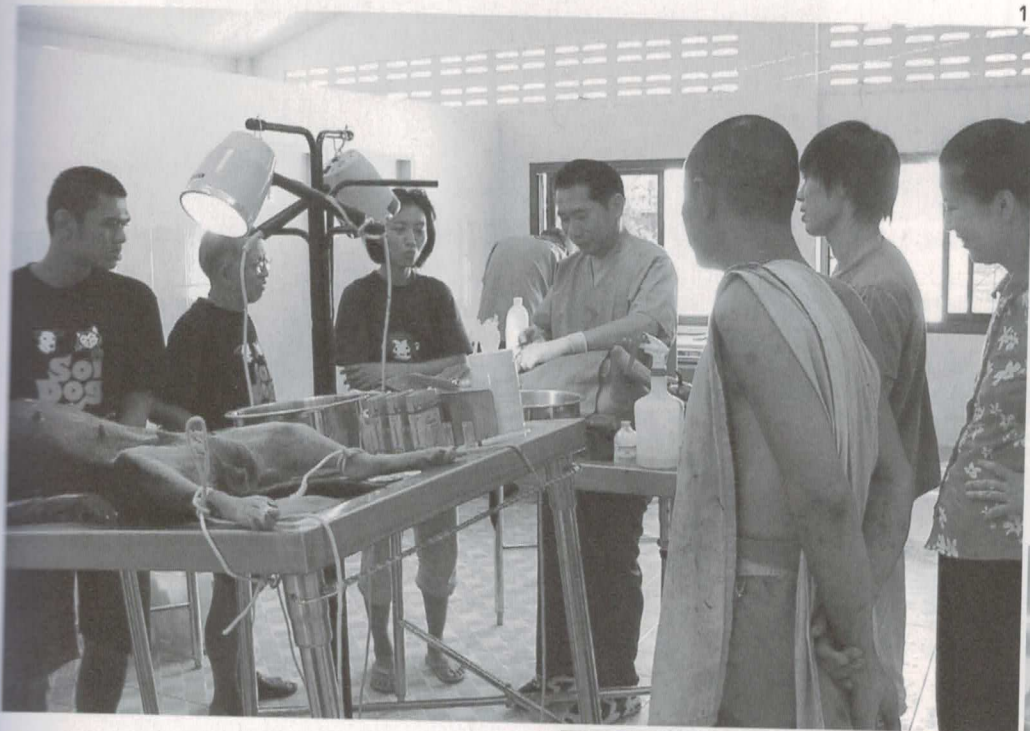


またたび獣医師団、 プーケットの被災地に出動



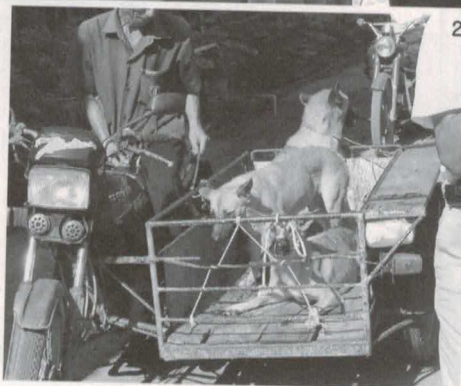
text by
Takako Nishimura

profile
にしむら・たかこ
愛玩動物飼養管理士の資格を生かしてもっぱら動物ネタを追いかけ
るライター。E.アーウィットの犬
写真に憧れ、写真を学びペットカ
メラマンとしても活動。兵庫県在住。



1 この診療室、実は寺のトイレ
2 現地の人たちは、各地から自転車
やバイクなどさまざまな方法で、犬
を連れてくる
3 皮膚病にかかっている犬も多い

写真提供 すべてまたたび獣医師団



スマトラ沖大地震による大津波の被害を受けた、タイのプーケット島。ここでは、オランダのNPO法人「Soi Dog Foundation」の呼びかけで、世界から獣医師がボランティアで駆けつけ、被災動物の治療や狂犬病の予防注射、不妊去勢手術をおこなっている。その活動に、日本からは兵庫県芦屋市の佐上邦久さん、悦子さん夫妻が結成した「またたび獣医師団」が参加している。

捨てられた犬や猫の保護活動をしてきた佐上さん夫妻は、約一二年間、殺処分を減らすために格安

で不妊去勢手術をおこなう、移動動物病院に参加した。このとき出会ったのが、山口武雄さん。阪神大震災のときも、いち早く神奈川県から神戸に駆けつけ、公園のテントで動物たちの治療をおこなっていた獣医師だ。

またたび獣医師団は、この出会いによって自然発生したグループだ。名前の由来は、旅の獣医師ということとで、「猫にマタタビ」のマタタビと「股旅」をかけて、名づけられた。活動に必要な交通費などは自己負担で、一切の寄付金は募っていない。

「参加者それぞれの技術、時間、お金を持ち寄って、自分のできる範囲で活動を楽しんでいます。この考えは、地域猫にえさをやり、自腹で不妊去勢手術をしている人とまったく同じことなのです」

被災動物の治療やワクチン接種、 不妊去勢手術をおこなう

今回のプーケットでの活動には、二月一五日に、佐上さん夫妻をはじめとした四人が現地に出発。佐上さんたちが声を掛けると「返事は二秒で返ってきた」という、山口獣医師もいっしょだ。

プーケットでは、拠点を移しながら動物たちの手当てをおこなっているため、簡易の設備しかない。しかも、治療をおこなった犬たちはほとんどの場所に戻すため、アフターケアが十分にできない場合が多いので、高い医療技術が求められる。

「参加している獣医さんたちは、非常に高い技術を持っている人ばかり。たくさん動物たちをこなしていかなければならないので、もしも何か医療事故が起きたとしても一人で対処しなければなりません」

なかには、多くの手術ができるから練習になるという考えで、参加を希望する獣医師もいたが、未熟な獣医師には手術は任せてもらえない。

「手術ができなくても、ケージの掃除や器具の準備、消毒、皮膚病の治療など、やることは山ほどあります。また、ハイレベルの技術を見ることができるので、いい勉強にはなると思います。」



手術をする山口獣医師。器具や設備の不足は技術力でカバーする



手術が終わった犬たち。麻酔からさめるのを待つ

「さらに動物由来感染症が発生してしまつては、より大きなダメージを受けることになり、予防対策としての活動でもあります」

佐上さんたちは、同様の活動をプータンでもおこなつてい

「絶対に許せないのが殺処分」と語る佐上夫妻は、三年前、ガリガリにやせて衰弱したポインターを保護し、引き取った。このことから、動物愛護活動への意識が芽生えたという。

「猟犬として使い捨てられる犬の実態を知り、さらに、日本でいかに多くの犬や猫が行政に殺処分されているかを知り、改善していきたいと思ひました。そのためには何をしたらいいのかを考えたとき、他の団体などに寄付金という形で託すのではなく、今自分たちができることを行動に移していこうと思ひました」

佐上夫妻と山口獣医師は、すでにプーケットから帰国しているが、今後もSoi Dog Foundationと協力し、ボランティアを募つて活動を継続していく。

「今回の活動は、阪神大震災のとき、世界から温かい支援の手が差し伸べられたことの恩返しでもありません。そしてなにより、この津波被害によって、タイの人と犬との素晴らしい共生が崩れていかないために、必要であると考えます。」



またたび獣医師団団長の佐上悦子さん

●またたび獣医師団
活動はブログで公開中。
<http://blog.livedoor.jp/matatabivets/>

「絶対に許せないのが殺処分」と語る佐上夫妻は、三年前、ガリガリにやせて衰弱したポインターを保護し、引き取った。このことから、動物愛護活動への意識が芽生えたという。

「猟犬として使い捨てられる犬の実態を知り、さらに、日本でいかに多くの犬や猫が行政に殺処分されているかを知り、改善していきたいと思ひました。そのためには何をしたらいいのかを考えたとき、他の団体などに寄付金という形で託すのではなく、今自分たちができることを行動に移していこうと思ひました」

佐上夫妻と山口獣医師は、すでにプーケットから帰国しているが、今後もSoi Dog Foundationと協力し、ボランティアを募つて活動を継続していく。

「今回の活動は、阪神大震災のとき、世界から温かい支援の手が差し伸べられたことの恩返しでもありません。そしてなにより、この津波被害によって、タイの人と犬との素晴らしい共生が崩れていかないために、必要であると考えます。」

「絶対に許せないのが殺処分」と語る佐上夫妻は、三年前、ガリガリにやせて衰弱したポインターを保護し、引き取った。このことから、動物愛護活動への意識が芽生えたという。

標もある。

無料お試しキャンペーン実施中!

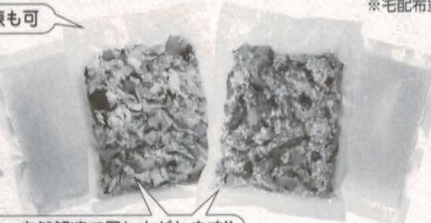
愛犬用手作り
無添加フード

ご希望の方全員に無料で2パック差し上げます(写真)

※宅配希望の方は送料のみご負担下さい。(クール便発送)

解凍して特製スープと混ぜ合わせて下さい

レンジ解凍も可



手間なし、自然解凍で召し上がれます!!

1. 鶏+野菜+特製スープ (200g) (90cc)
 2. 馬+野菜+特製スープ (200g) (90cc)
- 合成保存料無添加無着色無香料

ゼロゼロばんばん

受付10時~15時

愛犬ごはん

製造販売:(株)ドルフィン
山梨県甲府市下石田2-15-13

TEL 055-228-0011 FAX 055-228-0000

ホームページ <http://www.dolphin-kofu.com/doggywa>